

自分のキャリアは自分で磨き込もう
—自分の未来は自分で切り開こう—

開倫塾
塾長 林明夫

Q 1 : キャリアとは何ですか。

A : 英語の「CAREER」のことかと考えます。このことばは、中世のラテン語「carrari」、「馬車の道、轍（わだち）」から転じて、「人の通ってきた筋道・経歴」となったものです。

Q 2 : 自分のキャリアは自分で磨くとは、どういうことですか。

A : 自分がこれから歩む道は、自分の力で磨き上げる。学校を卒業したら、どのような仕事・職業に就くのか、どのような社会的な活動をするのか、どのような人生を歩むのかは自分で考え、自分で決め、自分の力で磨き上げる。自分の未来は自分で切り開く。こういうことだと考えます。

Q 3 : 小学校、中学校、高校、大学などの勉強は、キャリアを磨き込むのに役に立ちますか。

A : 小学校から大学、大学院までのすべての教科の勉強、教科外のすべての教育活動は、社会に出て、仕事や社会的な活動をするのに、また、よく生きるのに役に立ちます。学校での勉強や教育活動なしに、仕事や社会的な活動をすることは困難です。よい仕事や社会的な活動、よく生きることの前提は、学校での全教科の勉強と教科外の教育活動です。

Q 4 : 定期試験や入学試験の勉強も、キャリアを磨き込むのに役に立ちますか。

A : もちろんです。定期試験で 100 点満点を取るための勉強や、入学試験で合格点を取って第一志望校に合格を果たすための勉強は、それまでに学んだことを十分に「理解」し、身に着け（「定着」させ）ますので、自分の力で自分のキャリアを磨くことに直結します。

Q 5 : 第一志望校の決定も、キャリアを磨き込むのに役に立ちますか。

A : はい。どの学校で勉強するかを「自己決定」、自分の力で決定することは、キャリアを磨き込むことの第一歩です。自分の力で十分に調査し、よく考えた上で第一志望校を決定しましょう。そのあとは、「受験生としての自覚」を持ち、第一志望校合格のために自分から進んで学ぶ力、主体的に学ぶ力を身に着けることです。つまり、「自己学習能力の育成」が大切です。

Q 6 : キャリアを磨き込むことは、学校を卒業してからも行ったほうがよいのですか。

A : キャリアを磨き込むことが最も大切なのは、仕事に就いてからです。一つの仕事に精通し、お客様や社会のお役に立つために身に着けなければならないことは、およそ 200 あると言われ

ています。一つ一つ誠実に、仕事の上で必要な「スキル(能力)アップ」に励みましょう。

Q 7 : 転職にも、キャリアを磨き込むこととスキルアップが必要なのですか。

A : その通りです。よい転職には、転職前の準備と転職後の「キャリア磨き」が大切です。定年後の「キャリア磨き」も大切ですよ。「キャリア磨き」と「スキルアップ」は一生行うことが求められます。

Q 8 : 最後に、キャリア権とは何ですか。

A : 働く人が、その人生(ライフキャリア)に大きな位置を占める職業生活(職業キャリア)を通じて自己実現し、幸福を追求する権利です。生涯にわたり「働くこと」を通じて、生計を維持し学習をし自己実現を図ること、これら一連の行為によって幸福で豊かな生活を営むこと、いわば、「働くこと」を通して、働く人の人間らしい生活を応援することです。

憲法 13 条の幸福追求権、22 条の職業選択の自由、25 条の生存権、26 条の教育権、27 条の労働権などに裏打ちされた「基本的人権」だと考えます。自分のキャリアは自分で磨き、自分の未来は自分で切り開きましょう。

*以上、NPO 法人キャリア権推進ネットワーク「キャリア権を知ろう、キャリアを磨く、キャリアを活かす」2013 年 4 月 16 日を参照させて頂きました。

2018 年 12 月 5 日 (水) 8 時 32 分